

第6章 コミュニティセンター施設に関する現状と課題

(1) 施設に対する学区の認識

①施設の役割

- ・学区アンケートでは、9割以上の学区がコミュニティセンターが地域のコミュニティ活動の拠点として有効であるとしており、設置されたことによる効果についても、「コミュニティ活動の回数や頻度が増えている」、「地域のまとまりがよくなっている」と回答した学区がそれぞれ6割を超えるなど、地域活動の拠点として役立っていると評価されています。
- ・また、今後のコミュニティセンターの方向性についても、「これまでと同じように地域活動の拠点とした利用を中心とする」ことが最もふさわしいと回答した学区が6割を超えており、地域活動の拠点としての役割が今後も求められています。

②施設の老朽化の進行

- ・学区アンケートでは、今後もコミュニティセンターを管理運営していくために最も必要なこととして、「施設の維持補修（施設の老朽化の対応）」と回答した学区が半数を超えています。
- ・また、学区ヒアリングにおいても、施設の老朽化による維持補修費の増大、施設機能の低下、地域ニーズの変化により、施設の役割が十分に果たせなくなることへ問題認識を持つ学区が多く見受けられました。

(2) 今後の主な課題

①施設の長寿命化のための改修の着実な実施

- ・今後も地域活動の拠点として役割を果たしていくためには、施設の長寿命化が不可欠ですが、整備開始から30年以上が経過した築年数の古い館では、施設状況調査においても老朽化が進行していることが確認されました。
- ・特に、外壁・屋根などについては、躯体の耐久性に関わるものであり、施設の長寿命化を図るためには、計画的な改修を着実に実施する必要があります。
- ・施設状況調査において、日頃から清掃や点検を行っていただいている施設や設備は、長く使用できており、施設の長寿命化のためには、日常的・定期的な清掃や点検を行っていくことが望まれます。

②地域ニーズ等に応じた改修の検討

- ・アンケートやヒアリングにおいて、施設管理者からも、高齢化による施設のバリアフリー化や調理機能の不足などについての改修の要望があります。これらは、施設利用者の減少や地域活動の拠点としてのコミュニティセンターの機能低下につながるものです。
- ・今後も、地域活動の拠点として幅広く利用するためには、現在の地域ニーズや社会的要求水準を満たすため、近年の新設館程度の機能の確保に向けた改修も検討する必要があります。